

公共交通のサービスレベル

■ 利用環境の整備が進みつつある鉄道網

この10年間で、地下鉄南北線泉中央駅、仙石線地下化新駅、国府多賀城駅、小鶴新田駅の開業、名取駅駅舎改築と駅前広場の供用などの施設整備が進みました。また、バスから鉄道へ円滑に乗り換えができるように駅前広場の整備も着実に進んでいます。

地下鉄南北線、JR仙石線・仙山線や東北本線の近距離区間で日運行本数が若干増加しており、利用環境が改善されています。



図 鉄道路線別日運行本数の推移

資料:時刻表(H4.10,H14.10)、都市計画道路整備状況(宮城県、仙台市)より作成

■ バス利用者減少・運行本数減少

仙台都市圏の路線バス利用者数は年々減少し、バスの運行本数も減少しています。バス利用者の減少が運行本数の減少を促し、また運行本数の減少が利用者の減少につながる悪循環の構造がうかがわれます。

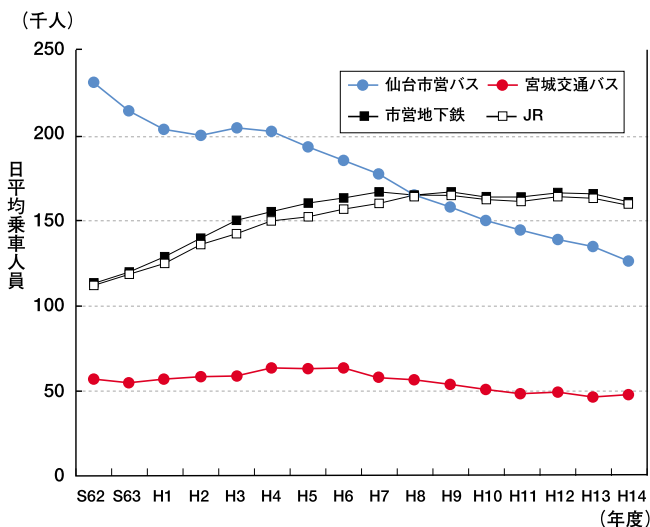


図 仙台市の公共交通利用者数の推移

出典 仙台市統計書

※宮城交通(株)のバス乗車人員は仙台営業所と富谷営業所の合算値

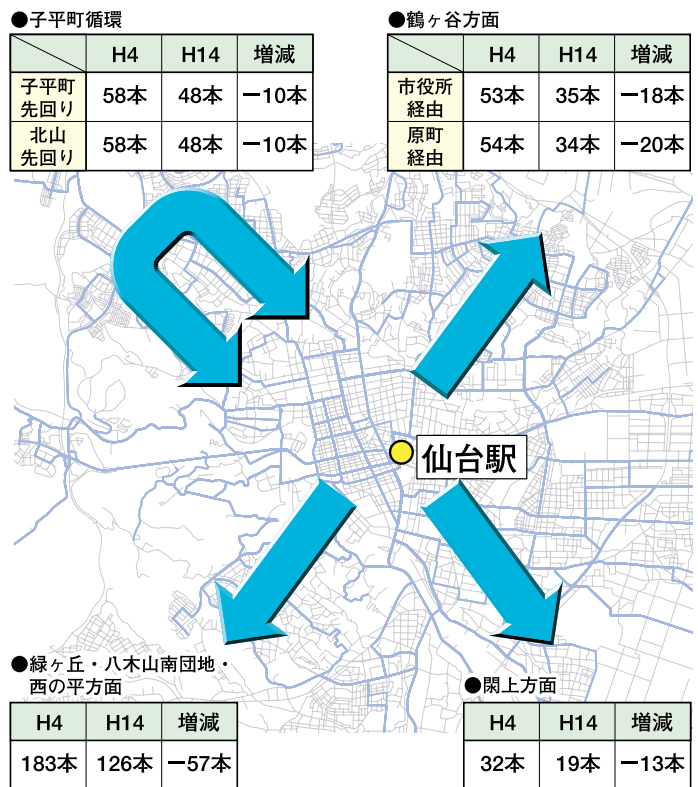


図 仙台駅前始発の平日1日あたり下り便本数の推移

資料 時刻表(H4.10月、H14.10月改正)